

1 プログラム作成の目的

私たちの食生活は、多様化がすすみ、便利で豊かになった反面、食に対する意識が薄れてきており、健康で豊かな人間性を育む健全な食生活が失われつつあります。

このため、食に関する様々な経験を通じて健全な心と体を培い、食に対する感謝の気持ちを育むための「食育」が一層重要となってきました。さらに、生活習慣病の予防及び改善においては、食生活と食習慣が大きく関与していることから、家庭内における正しい食生活と望ましい食習慣の定着を推進する必要があります。

こうした状況を踏まえて、幼少期（幼児期～小学校低学年）からの食育に重点的に取り組み、家庭、保育所、幼稚園、学校、地域等が連携した食育の推進を図るため、「第2次やまぐち食育推進計画」及び「健康やまぐち21計画（第2次）」で示した課題や方向性を反映し、食育の推進に携わる関係者が現場で活用できる「やまぐち食育プログラム」を作成することとしました。

